

介護はだれが？

下野市の65歳以上の人口は総人口の23%を超え、本格的な超高齢社会を迎えています。増加し続ける高齢者の介護を誰が担っていくのが社会全体の課題となっています。平成28年に実施した国民生活基礎調査によると、同居者を介護している人のうち約4割は男性でした。平成25年の調査では3割程度であったことから、男性介護者が増加していることが分かります。共働き世帯の増加や家庭内の役割分担意識の変化などから、今後、介護に携わる男性は増加するでしょう。

育児は子の成長にに応じて予定を立てることができず、介護は突然必要になることがあります。家族の介護が必要になっても、男女ともに仕事や私生活と両立ができるよう、日頃から話題にしてみると良いかもしれません。

まずは相談

「キャッシングカードを預かる」という電話は詐欺です！

警察を名乗る男性から、「コンビニで、あなたの銀行口座から50万円が引き落とされたのでカードを止めた。代わりに者を行かせるので、キャッシングカードを預けるように」という電話があり、訪ねてきた男性にカードを渡し、暗証番号を教えてしまったという事例があります。

警察や公的機関、金融機関の職員等が通帳やキャッシングカードを預かったり、暗証番号を聞いたりすることはありません。もし、訪問されても絶対に通帳やキャッシングカードを渡したり、暗証番号を教えたりしないでください。

少しでも不安に感じたり、困ったときは、悩まず消費生活センターにご相談ください。

下野市消費生活センター
専用ダイヤル ☎(44)4883
市役所2階

相談日時 月～金曜日

(祝日・年末年始を除く)
午前9時～午後5時

(正午～午後1時を除く)
※来所での相談の場合は、事前に電話でご予約ください。

※土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ

☎0288(625)2227



下野ブランド

あぶみ瓦

JR小金井駅西口前にある老舗の和菓子屋「御菓子司松屋」には、50年以上地元で愛され続ける人気の焼き菓子がああります。

あぶみ瓦は、国指定史跡・国分尼寺跡から発掘された軒丸瓦を型取っており、きれいなハスの花の模様になっています。

生地の中には、市が全国生産量日本一を誇るかんぴょうの粉が混ぜられており、さらに、白餡にもかんぴょうが練り込まれています。これは、店主が下野市らしい和菓子を作りたいと試行錯誤して開発したもので、お菓子を食べながら、かんぴょうの食感を楽しむことができます。

「お菓子にかんぴょう？」と不思議に思うかもしれませんが、ぜひ一度ご賞味いただき、和菓子とかんぴょうの絶妙なハーモニーを感じてみてください。

わかるかな？

まちがいさがし

2枚の写真には違っているところが3つあります。みつけてみてください。(印刷の汚れは除く。) ※答えは43ページ

▼ しもつけ風土記の丘資料館 エコバッグ作り

